

セクシュアリティは、みんなそれぞれ。

## 令和5年度「性の多様性」に関する市民意識調査 結果報告

横浜市では、「一人ひとりの市民が互いに人権を尊重しあい、ともに生きる社会」の実現をめざして、さまざまな取組を進めています。本調査は、「性の多様性」に関する市民の行動や意識を把握し、今後の「性の多様性」に関する取組をより効果的に進めていく参考とするために、横浜市として初めて実施しました。このたび、調査結果がまとまりましたので、お知らせします。

### 調査結果のポイント

- 「家族が性的少数者であることを打ち明けた場合、理解者になることができるか」について、**全回答者の約4割が「わからない」と回答しました。**
- 性的少数者の人々に対するイメージについて**「身近にいないのでよくわからない」が、全回答者の約3割**を占めました。
- 「性的少数者」「LGBT」等の言葉の認知度が高い**一方、性の多様性を表す言葉である**「SOGI(ソジ)」の認知度が低い結果**となりました。

### 今後の取組

誰もが性別にかかわらず安心して生活することができる都市・横浜の実現に向けては、市民の皆様により身近なテーマとして**「性の多様性」について考えていただくことが重要です。**横浜市は、今回の調査結果を受けて、**性の多様性を表す言葉である「SOGI」の理解促進をはじめとした、一層の啓発に取り組んでいきます。**

### ■ 調査概要

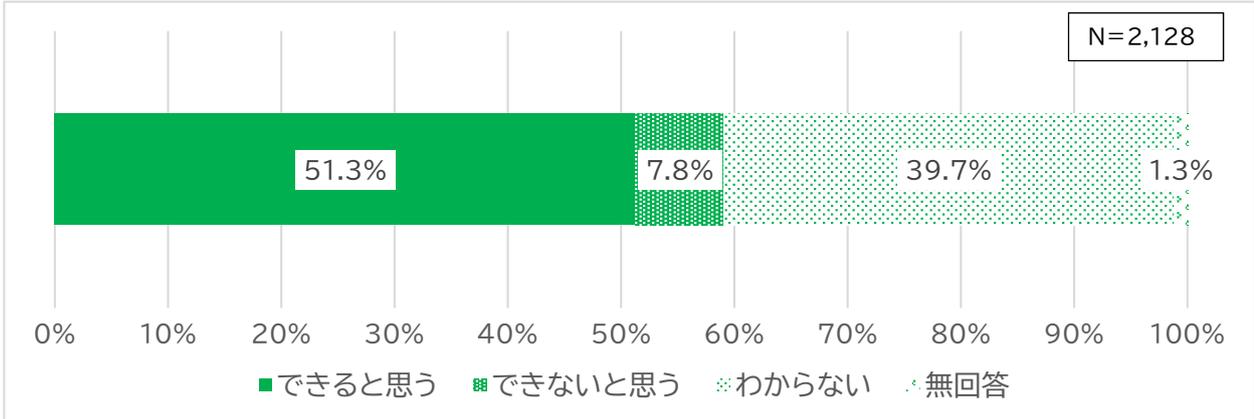
調査対象	市内に居住する満18歳以上の男女5,000人(うち外国籍市民100人) ※戸籍上の性別 ※住民基本台帳による無作為抽出
調査方法	調査票を郵送、回答は郵送又はインターネット
質問項目	性別役割分担意識、同性愛者やトランスジェンダーに対する考え、性的少数者に持つイメージ等、全14項目
調査期間	令和5年5月31日(水)～7月1日(土)
回収結果	2,128件(郵送回答1,382件/インターネット回答746件) 回収率:42.6%

### ■ 調査報告書

詳しくはこちらからご覧ください。回答データも公開しています。

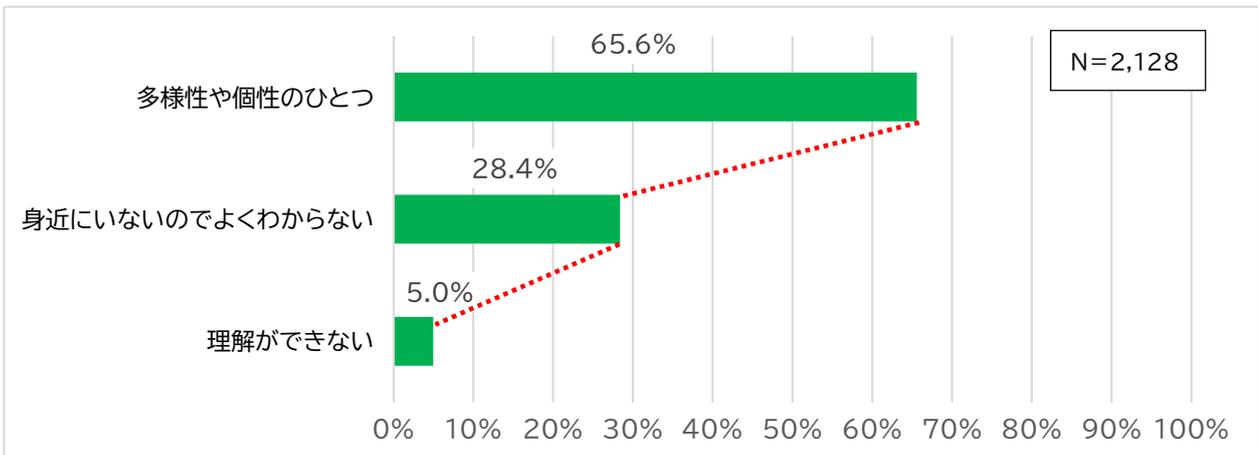
<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/jinken/lgbt/ishikityosa.html>

■ 家族が性的少数者であることを打ち明けた場合、理解者になることができるか(問4)



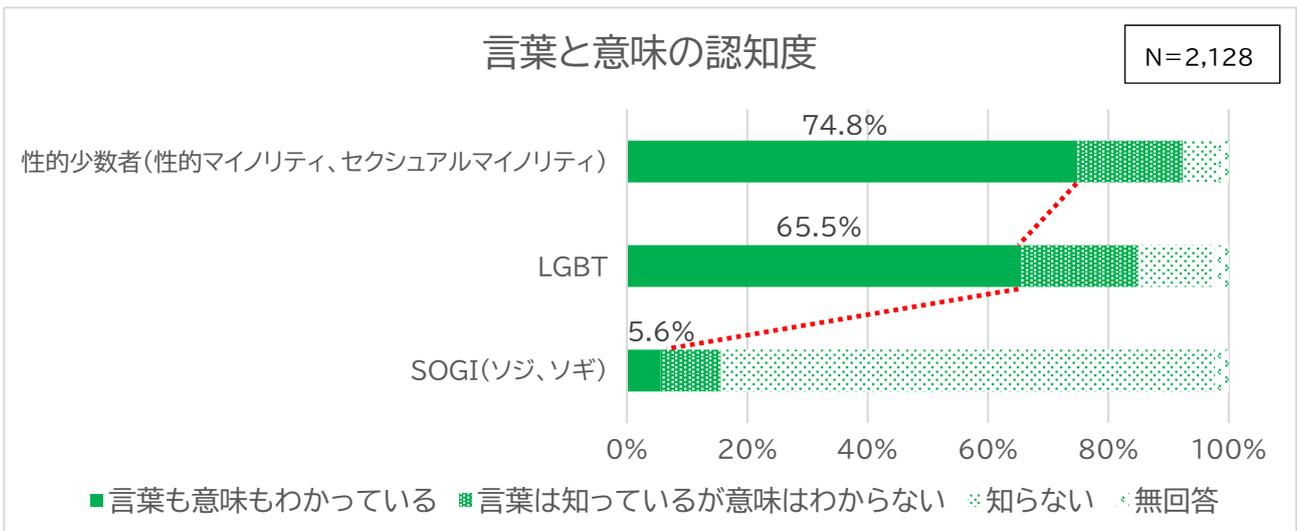
(小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計は100%になりません)

■ 性的少数者の人々に対して持つイメージ(問6) ※複数回答可



(問6の回答を抜粋。その他、「個人の趣味や嗜好の問題」「無回答」)

■ SOGI の認知度(問 12)



(問 12 の質問を抜粋。その他、「レズビアン」「ゲイ」「バイセクシュアル」「トランスジェンダー」「SOGI ハラスメント」)

## ■ 自由意見(問 14) ※一部抜粋

- ・すべての人が自分らしく生きられる社会であってほしいと願います。
- ・横浜市が「性の多様性」についてどのような取組をしているのかあまりわからなかったので、取組をまとめたサイトの作成、学校での講演活動など、若年層に向けた活動を行ってほしい。
- ・正直言って「馴染めない」のが実感であるが、性の多様化については理解して行かねばと思っている。

## ■ SOGI(ソジ)とは？

一人ひとりの性の構成要素である「性的指向(Sexual Orientation)」と「性自認(Gender Identity)」の頭文字を組み合わせた言葉で、性的少数者の方々だけではなく、誰でも自分なりのセクシュアリティ(性のあり方)があることを表しています。

セクシュアリティは「性的指向」「性自認」「生物学的性」「性別表現」といった様々な要素で構成されており、性の多様性の概念のもとでは、「一人ひとりの性のあり方はグラデーション」「100 人いれば 100 通りの性のあり方が存在する」等とされています。

### 性の構成要素

#### 性自認

Gender Identity

自分が自分の性別を  
どのように認識しているか

#### 生物学的性

Biological Sex

身体的な特徴などから識別される性別、  
いわゆる戸籍等に記載された性別



#### 性的指向 (好きになる性)

Sexual Orientation

恋愛感情や性的な関心が  
どの性別に向くか、  
向いていないか

#### 性別表現

Gender Expression

言葉づかい、しぐさ、服装など自分の  
性別をどう表現するか  
(性自認と性別表現が一致するとは限りません)

## ■ 横浜市性的少数者等支援事業について

- 当事者等支援事業
  - ・個別専門相談「よこはま LGBT 相談」
  - ・交流スペース「FriendSHIP よこはま」
- 横浜市パートナーシップ宣誓制度  
宣誓組数: 382 組(令和5年 10 月末現在)
- 市民、企業向け啓発  
「性の多様性と職場づくりを考えるハンドブック」など

事業の詳細は、以下ホームページでご覧いただけます。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/kyodo-manabi/jinken/lgbt/>



横浜市は、誰もが性別にかかわらず、安心して生活することができる、  
性の多様性が尊重された社会の実現に向けて取り組んでいきます。

### お問合せ先

市民局人権課長 佐々井 正泰 Tel 045-671-3984